



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5189 URL http://www.sakura-rubber.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,778	6.1	△97	—	△95	—	△83	—
2020年3月期第1四半期	1,676	△3.3	△62	—	△64	—	△49	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △51百万円 ( —%) 2020年3月期第1四半期 △42百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△86.36	—
2020年3月期第1四半期	△51.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,933	7,100	51.0
2020年3月期	15,857	7,219	45.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,100百万円 2020年3月期 7,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	9,800	△31.7	157	△86.2	137	△87.6	85	△87.4		87.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	1,012,000株	2020年3月	1,012,000株
2021年3月期1Q	44,426株	2020年3月	44,426株
2021年3月期1Q	967,574株	2020年3月期1Q	967,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、製造業・非製造業や内需・外需を問わず、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましても、国内外ともに段階的に経済活動は再開されているものの、感染症の収束については一進一退の状況とみられており、「ウィズコロナ時代」とも呼ばれる環境下、新たな社会と事業の在り方を模索しつつ、経済回復に向けた行動を求められております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、感染症対策として営業部門や管理部門については在宅勤務環境の整備を進め、生産部門など工場についても感染リスク軽減を最優先しつつ、引き続きお客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく事業活動を行っております。

その結果として、売上高は1,778百万円（前年同期比6.1%増）、営業損失97百万円（前年同期は62百万円の営業損失）、経常損失95百万円（前年同期は64百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円（前年同期は49百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高は、航空・宇宙、工業用品事業における販売増を要因に増収となりました。なお、新型コロナウイルス感染症による第1四半期の売上高への影響として、不動産賃貸事業において緊急事態宣言に基づく休業要請にご協力いただいたテナントへの賃料減額を実施した結果、約10百万円の減収が顕在化しております。

利益面では、新型コロナウイルス感染症への対応の結果として、移動や会議に伴う費用など販売費及び一般管理費全般が減少したものの、航空・宇宙、工業用品事業の製造原価上昇を要因として損失が拡大しております。また、消防・防災事業において顧客予算との関係から例年の第1四半期売上規模は小さくなることから、各段階損益において損失計上という結果となりましたが、第1四半期は概ね会社の計画どおりに推移しております。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (消防・防災事業)

前年同期と比べ特殊車両の販売増はあったものの、テロ対策資機材の案件は減少し、新型コロナウイルス感染症の影響により消防ホースの契約も遅れていることから、売上高542百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント損失（営業損失）は72百万円（前年同期は68百万円のセグメント損失）となりました。

#### (航空・宇宙、工業用品事業)

航空・宇宙部門では、官需向けエンジン部品や補用品の販売が増加しました。工業用品では、タンクシールや子会社を取り扱う製造設備用金属加工部品の販売が順調に推移しております。利益面では、前期からの固定費吸収力の低下が製造原価を上昇させており、その結果、売上高は1,125百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

前年度第3四半期から事業に組み入れた賃貸不動産による増収効果はあるものの、新型コロナウイルス感染症への対応として、商業施設への休業要請にご協力いただいたテナントへの賃料減額を実施した結果、売上高は111百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間における流動資産は9,156百万円（前連結会計年度末比1,933百万円減）となりました。主として、現金及び預金が1,516百万円増加した一方、売上債権回収により受取手形及び売掛金が3,447百万円減少したことによるものです。

また、固定資産は4,776百万円（前連結会計年度末比8百万円増）となりました。

この結果、資産合計は13,933百万円（前連結会計年度末比1,924百万円減）となりました。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間における流動負債は3,976百万円（前連結会計年度末比1,920百万円減）となりました。主として、短期借入金が290百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,903百万円減少したことによるものです。また、固定負債は長期借入金が126百万円増加し、2,856百万円（前連結会計年度末比114百万円増）となりました。

この結果、負債合計は6,832百万円（前連結会計年度末比1,805百万円減）となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間における純資産は7,100百万円（前連結会計年度末比118百万円減）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円と剰余金の処分67百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2020年5月26日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,493,969	4,010,016
受取手形及び売掛金	4,885,664	1,438,530
電子記録債権	783,201	907,533
商品及び製品	326,609	201,528
半製品	593,578	565,121
仕掛品	1,316,680	1,357,528
原材料及び貯蔵品	621,978	615,134
その他	73,486	63,307
貸倒引当金	△5,657	△2,308
流動資産合計	11,089,509	9,156,392
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,790,941	1,760,693
土地	1,676,278	1,676,278
その他（純額）	492,989	490,835
有形固定資産合計	3,960,208	3,927,807
無形固定資産	11,904	11,784
投資その他の資産		
投資有価証券	233,081	264,903
その他	562,872	572,366
投資その他の資産合計	795,953	837,269
固定資産合計	4,768,066	4,776,861
資産合計	15,857,576	13,933,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,874,295	970,316
短期借入金	1,000,000	1,290,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	561,893	578,322
未払法人税等	316,808	12,206
賞与引当金	285,655	393,254
役員賞与引当金	70,000	16,250
その他	747,938	675,908
流動負債合計	5,896,590	3,976,257
固定負債		
社債	320,000	320,000
長期借入金	1,201,480	1,327,607
役員退職慰労引当金	222,922	228,467
退職給付に係る負債	732,688	717,747
資産除去債務	12,277	12,347
その他	251,881	250,031
固定負債合計	2,741,249	2,856,201
負債合計	8,637,840	6,832,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	6,832,872	6,681,583
自己株式	△173,443	△173,443
株主資本合計	7,450,860	7,299,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,379	76,201
退職給付に係る調整累計額	△285,503	△274,976
その他の包括利益累計額合計	△231,124	△198,775
純資産合計	7,219,735	7,100,794
負債純資産合計	15,857,576	13,933,253

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,676,945	1,778,921
売上原価	1,266,262	1,437,120
売上総利益	410,682	341,801
販売費及び一般管理費	472,744	439,392
営業損失(△)	△62,062	△97,591
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	3,888	3,848
受取地代家賃	2,965	2,965
為替差益	471	737
貸倒引当金戻入額	1,916	3,349
その他	1,541	1,960
営業外収益合計	10,788	12,867
営業外費用		
支払利息	10,068	10,012
社債利息	230	212
その他	2,497	852
営業外費用合計	12,796	11,076
経常損失(△)	△64,069	△95,801
特別損失		
固定資産除売却損	0	280
特別損失合計	0	280
税金等調整前四半期純損失(△)	△64,069	△96,081
法人税、住民税及び事業税	17,659	6,680
法人税等調整額	△32,384	△19,202
法人税等合計	△14,724	△12,521
四半期純損失(△)	△49,345	△83,559
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,345	△83,559

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△49,345	△83,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,151	21,821
退職給付に係る調整額	10,656	10,527
その他の包括利益合計	6,505	32,349
四半期包括利益	△42,839	△51,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,839	△51,210
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	556,697	1,000,655	119,591	1,676,945	—	1,676,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,872	1,872	△1,872	—
計	556,697	1,000,655	121,463	1,678,817	△1,872	1,676,945
セグメント利益又は損失(△)	△68,599	85,533	27,293	44,227	△106,289	△62,062

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,289千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	542,331	1,125,565	111,025	1,778,921	—	1,778,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,872	1,872	△1,872	—
計	542,331	1,125,565	112,897	1,780,793	△1,872	1,778,921
セグメント利益又は損失(△)	△72,189	52,774	23,429	4,015	△101,606	△97,591

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△101,606千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。